

「5S実践基礎講座」

成果報告会・概要紹介

芽生えたカイゼン意識の定着に期待

当センターでは、県内ものづくり産業の国際競争力強化といっそうの集積促進を目指し、品質、納期、コスト各般に渡る改善能力の高い意欲的な人材育成を支援するため17年度から「いわてものづくりアカデミー」を開催しております。

その中でも、目玉講座の「5S実践基礎講座」は約5カ月にわたる長期研修であり、集合研修の中で講義にとどまらず「改善スキルシート」を作成し、集合研修終了後、トップを交えて参加者の改善スキルアップにつながるような実践プランを作成のうえ改善活動を自社で実践してもらい、2ヵ月後、実践を確実にものにするための支援及びフォローアップのため講師及びトレーナーが実際に各参加企業を訪問し、製造現場に入って指導を行なう講座で、去る10月12日(金)に成果報告会が行なわれました。

活動内容

今年度は5月21日から、(財)社会経済生産性本部 高田晴弘主席経営コンサルタントを講師に、大松好則氏、佐藤隆洋氏をトレーナーに招き、4社10名の受講者で始まりました。2日間座学を行い現場改善の必要性、5S改善と目で見える管理について学び、各社の現状に合わせた5S改善実施プランを作成しました。6月19・20日に1回目のフォローアップとして各社を訪問し、現場で具体的な改善指導を行いました。8月21日に中間報告会を行い、各社の発表により進捗状況を確認するとともに、アピール力のある「目に見える」成果のまとめ方について学びました。その後、2回目のフォローアップとして各社を訪問し、現場を見ながら中間発表会での成果の確認と今後の進め方について指導しました。

参加された4企業の成果報告内容についてご紹介いたします。

成果報告概要

成果報告会は受講者のほか、上司や社員も聴講のもと、各社プレゼン方式で行いました。各社に共通する成果として「工具類などの物を探すムダの削減(1回当たり1～4分の削減)」による作業効率の向上や、「不要なものの撤去、レイアウト変更による空きスペースの創出(1箇所当たり1～30㎡の空きスペース)」が挙げられました。さらに「作業の見直しによる工程改善(4.2時間/月の短縮)」、「専用作業台車の製作による作業効率向上(残業時間48時間/月の削減)」といった成果を上げた会社もあり、講師、トレーナーの評価も高いものでした。受講者のアンケートからは、「5S活動において現場で適切なアドバイスを受け、取り組みやすかった」、「上司、社員の前で成果を発表する事ができたので良かった」、「他社の発表を聞くことで自社の取り組みの良いところ、足りないところを確認でき、参考になる点が多かった」と好評でした。

発表された内容を見ると各社とも整理・整頓はもとより表示の徹底と数値で明示化できる改善効果が上がったとしていることから、所定の成果はあがったと思われます。

今後は、これまでの活動を維持することはもとより芽生えたカイゼン意識を定着させ、工程カイゼンへとステップアップさせていただくことが期待されます。

アドバイザーによる巡回相談(無料)

下請中小企業アドバイザーとして新たに2名を配置し、3名体制となりました。県内企業様の技術及び取引条件等に関する相談に応じるとともに、経営の改善に必要な助言をします。

アドバイザーの巡回相談をご希望する方はご連絡ください。

育成支援グループ TEL.019-631-3822 FAX.019-631-3830



佐野 茂 アドバイザー

主な略歴：国立一関工業高等専門学校(昭和44年4月～平成19年3月)教授、同名誉教授。昭和63年、工学博士(東北大学)。寮務主事、副校長(教務主事)、物質化学工学科主任、物質化学工学専攻科主任、一関市省エネルギー策定委員会会長、一関市環境

審議会会長等を歴任。現一関高専非常勤講師

主な指導分野：粉体製造に関する技術指導、分析方法の指導助言、研究開発に関する産学官連携指導、人材育成

特 技 等：ガラス骨材粒子について、国内唯一エコマーク取得のための鋭利度測定法の開発及び普及



佐々木 一 豊 アドバイザー

主な略歴：(株)多加良製作所 岩手工場製造部、工程管理部、生産部、取締役工場長(1973年4月～2006年2月)(株)TAKARA T&D HANOI工場副社長として立ち上げ(2006年2月～2007年8月)を経験し退職、現在に至る

主な指導分野：金型、部品加工での製造、工程管理及び人材育成。海外工場立ち上げ協力

資 格 等：ISO内部監査(品質)